

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 23日
研究・研修課題名	精神科薬物療法認定薬剤師の新規認定取得・更新に係る講習会への参加
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	曾田重人(薬剤師)
研究・研修実施者名(所属)	曾田重人、神田翔磨(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	講習会：令和3年度精神科薬物療法認定薬剤師講習会(Web) 第31回日本医療薬学会年会(Web) 認定名：精神科薬物療法認定薬剤師(曾田重人)
演題名・認証交付元等	日本病院薬剤師会
取得日・認定期間等	認定日：2019年10月1日 認定期間：2019年10月1日～2024年9月30日
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

精神科領域の薬物療法では、多剤併用や患者のアドヒアランス不良、薬剤の効果や副作用の発現に個人差が大きいこと等により、様々な問題が生じやすい。特に、多剤併用は有害事象の発現リスクであることから、令和2年度の診療報酬改定では薬剤総合評価調整加算の見直しがなされ、「処方の総合的評価や調整の取組」と、「減薬に至った場合」とを段階的に評価する報酬体系となった。当院精神科においても、薬剤総合評価調整加算を算定しており、薬剤師による薬剤の副作用モニタリングや服薬アドヒアランス確認、処方の最適化を行っている。薬剤師の精神科領域における資格として日本病院薬剤師会 精神科薬物療法認定薬剤師があるが、当院薬剤部の有資格者は1名のみである。そこで、必須講習会に参加し、精神科薬物療法認定薬剤師の新規取得や更新を目指すと共に、当院における精神科薬物療法の安全性や有効性の向上に貢献することを目的とする。

②方法

今年度はWeb開催となったため、各自Web講習会を受講した。

第1回精神科薬物療法認定薬剤師講習会(令和3年7月18日)：受講者(神田翔磨)

第2回精神科薬物療法認定薬剤師講習会(令和3年11月21日)：受講者(曾田重人、神田翔磨)

第31回日本医療薬学会年会(令和3年10月10日)：受講者(曾田重人、神田翔磨)

③成果

本講習会や学会参加により、曾田は精神科薬物療法認定薬剤師の更新に必要な50単位のうち、8単位を取得することができた。また神田は精神科薬物療法認定薬剤師の申請に必要な20単位のうち、8単位を取得することができた。

講習会においては統合失調症や双極性障害の薬物治療について最新の知見を得ることができた。今後、令和2年度診療報酬改定で見直された薬剤総合評価調整加算、新設された精神科退院時共同指導料、退院時薬剤情報連携加算などのさらなる算定増加に向け、薬剤師業務を行っていく。